

団体名	特定非営利活動法人 きょうせい大船渡
事業名	ひまわりプロジェクト IN 大船渡

<事業概要>

震災直後、福島県「NP0 法人シャローム」の活動に呼応して、当法人として「ひまわりプロジェクト」に取り組んできました。

内容としては、シャロームから「ひまわり」の種の提供を受けて、当地（大船渡市内）で栽培、満開となった「ひまわり」を地域住民で愛でた後で、種を収穫してシャロームへ送る、そこで絞られたひまわり油が製品となり、その収益は障がい者の支援や福島の子どもたちの社会活動の資金、本事業継続のための活動資金として活用。

当プロジェクトは、全国の方々との絆を深めながら、今なお原状回復には至らない福島への支援、そして地域と地域を結ぶ「ひまわりプロジェクト」として参加、全国各地での地域づくりや仲間づくりのきっかけにもなっている。

当地泊地区でも、東日本大震災により分断された地域が「ひまわり」の世話をすることにより、期せずして自然と従来のコミュニティが再生されてきていると感じられる。

<実施効果>

ひまわり畑は、泊地区の復興のシンボルでもある「結っ小屋」と隣接しており、事あるたびに住民が集まるようになり、作業終了後は皆さんで慰労会の開催など、震災そして新型コロナウイルスの蔓延で希薄になっていたコミュニティ再生のきっかけとなっているように感じられます。

現泊区長さんからは、ひまわり作業は皆が集まる機会となり、ひまわりが満開になれば地域の皆さんの憩いの場となり、事あるたびに「結っ小屋」で集まって飲む口実にもなっているなど、一定の評価をしていると述べられています。

当地区にひまわり畑を移して3年、活動に関する一番の支出及び労力として、毎年簡易的な防鹿ネットの敷設の際に破損部分の支柱の買い足し、ネットの修繕などが挙げられますが、今年度は、ある程度の設備を投下することにより、次年度以降の作業低減を図ることができました。

<今後の展開>

将来的には、耕作面積の拡大やひまわり鑑賞などの観光資源、他の農作物の栽培などの活動も含めて、コミュニティ形成に繋げていきたいという思いとともに、市内でもひまわりプロジェクトの輪を広げていきたいと考えております。

<市民のみなさんへ一言>

今年は、泊地区の皆様の協力により、約15kgのひまわりの種の収穫をする事が出来ました。

本プロジェクトは、全国473件の協力者（305団体、168個人）を数えるネットワークが広がっており、小さな所ではプランター栽培や家庭菜園などから企業などの総量150kgを超える規模まで様々な形態があります。

そのような中で、当市内でも興味をお持ちの方がいましたら、当プロジェクトへのご参加をお願いしたいと思います。

令和6年度 大船渡市市民活動支援事業 活動報告書 No.2



【ひまわり畑整備】

男性陣はひまわり畑の草刈り作業、防鹿ネット支柱設置作業を行いました。



【作業後の慰労会の準備】

女性陣は公民館で作業後の慰労会準備で大忙し。

今が旬の「秋刀魚のつみれ汁」と「お結び」の準備！



【作業後の慰労会】

雲一つ無い秋晴れの下での慰労会！

当初はお弁当での慰労会の予定でしたが、婦人部の申し出もあり、手作りの慰労会となりました。



【14th ひまわり感謝祭】 福島市訪問

NP0法人シャロームへ大船渡で収穫された種（15kg）を渡すことができました。全国のひまわりプロジェクトの展示コーナー見学、コンサートなどイベントに参加。